

高知県では県内16市町村と連携しながら、都市部から高知県への移住や中長期滞在される方の受け入れを積極的に推進しています。

移住を検討される方々は、その地域での生活をイメージできる情報を求めています。そうしたニーズにお応えする方法のひとつとして、室戸市では、eラーニングで学ぶしくみを情報発信に活用しています。

県外から移り住まれた方々の体験談と合わせて、市役所職員の方が熱弁を奮いながら、室戸市の魅力や実際のくらしぶりを映像でお伝えしています。

何よりも映像には説得力があります。こういうところにも、ICTは活用できるのですよね。

これをきっかけに室戸に滞在する方々が増えることを期待しています。

□「移住・交流の学び舎」は以下の「kochi くろしお学校」からご覧ください。  
会員登録(無料)でどなたでもご利用いただけます。

↓

<http://www.kochi-kuroshiogakko.com/>

(「移住・交流の学び舎」の公開は終了しましたので、現在はご覧になれません。)

<目次>

◇**東部地区・西部地区の「アウトソーシング説明会」の受付開始のご案内**

---

◇**東部地区・西部地区での「アウトソーシング説明会」への参加者の受付を  
始めます◇**

東部・西部の説明会は、アウトソーシング情報のお知らせと併せて、参加者全員による座談会を通じて、交流やビジネスパートナーづくり、新たな仕事へのきっかけとなることをめざして、高知会場とはひと味違う趣きで開催いたします。

参加定員は両会場とも25名です。ぜひお早めにお申し込みください。

□**東部会場**

【日時】平成21年3月11日(水曜日)午後1時から5時まで

【会場】高知県安芸総合庁舎 2階奥「3号会議室」

□**西部会場**

【日時】平成21年3月16日(月曜日)午後1時から5時まで

【会場】高知県幡多総合庁舎 3階「大会議室」

□**両会場共通**

【内容】

◆午後1時から3時まで 第一部 説明会◆

(1)アウトソーシングの総括

・これまでのアウトソーシングの取組みと効果をご紹介

(2)みんなで話し合おう

アウトソーシングで変わる高知県・地域のすがた座談会

・参加者のPR、交流、意見交換のための座談会

(3)平成 21 年度のアウトソーシング業務への参加方法

・発注予定業務と参加方法などのご紹介

◆午後 3 時 15 分(東部会場は 15 時 25 分)から 5 時まで 個別相談会◆

【開催案内ホームページ】

<http://www.pref.kochi.lg.jp/~gyoukai/gyoukai/kaigi/setsumei090220.html>

---

□高知会場

こちらも引き続き参加者を募集しています。お早めにお申し込みください。

※前回メールニュースでのご案内の中で開催日が「平成 20 年 2 月 20 日」となっておりました。「平成 21 年 2 月 20 日」の誤りです。大変失礼いたしました。

【日時】平成 21 年 2 月 20 日(金曜日)午後 1 時から 5 時まで

【会場】高知県庁正庁ホール

【内容】

◆午後 1 時から 2 時 35 分まで 第一部 説明会◆

①アウトソーシングが導き出す効果とビジネスチャンス

～アウトソーシング・リレー講座～

・アウトソーシングの総括 高知県

・建設業から新規分野への参入(株)田邊工務店

・県外事業者とのジョイント (株)ダイセイ

・NPOの企画提案による協働 NPOとさはちきんねっと

②県立施設の指定管理者情報 高知県

③すっきり！疑問解決 アウトソーシング業務の発注と参加方法 高知県

◆午後 3 時から 5 時まで 個別相談会◆

【お問い合わせ・お申込み先】

高知県総務部行政管理課(担当:大石、彼末)

Tel:088-823-9089 Fax:088-823-9251

mail:[110301@ken.pref.kochi.lg.jp](mailto:110301@ken.pref.kochi.lg.jp)

## ◇編集後記

「たてじまくん」のひとつ



『ささやかな祈り』

2月に入り、プロ野球チームは一斉にチャンピオン。  
今年はWBCもあって、野球ファンは早くから楽しめそうです。

われらが阪神タイガースもここ数年は好調をキープ、常に上位争いに加わり楽しませてくれます。

昨年は、“まさか”の結果となりましたが、何年か前までは夏を迎えることなくペナントレースを終えていたことを考えると格段の進歩です。

思えば昨年は、春先からトップを独走。夏には早々とマジックが点灯し、サンテレビの野球中継では、岡田監督が何回胴上げされるかが視聴者へのプレゼントクイズになっていたのに……。

絶頂から突然の急降下、阪神ファンにとっては、まるで昨年の日本経済を象徴しているような出来事でした。

世の中、暗い話ばかり。

せめて、今年も秋まで、ビールを飲みながらの楽しいナイター観戦ができますように。